

つくば市記者会 御中

発信日：令和4年（2022年）9月12日（月）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 スタートアップ推進室

取材依頼 周知依頼 募集告知 その他

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社と Letter of Supportを締結しました

つくば市は、スタートアップ推進に関して協働し、市内スタートアップ・エコシステムの強化を図るため、9月9日にクラウドサービスを提供する「アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社」（本社：東京都品川区 代表執行役員社長：長崎忠雄 以下、AWSジャパン）と、連携に向けたLetter of Support（以下、LoS※）を締結しました。

【LoS締結の背景】

約150の研究機関と約2万人の研究従事者が集積する研究学園都市・つくば市では、ディープテックと言われる研究成果を基礎とするスタートアップの創出及び支援に取り組んでいます。

今回のLoSでは、つくば市のスタートアップ・エコシステムの強化を図るため、AWSジャパンが提供するスタートアップ支援プログラム「AWS Startup Ramp」、「AWS EdStart」を活用した市内スタートアップの支援やイベントの協力を通じて、スタートアップの革新的ソリューション開発をサポートし、連携してスタートアップ推進に取り組めます。



（左）AWSジャパン 宇佐見執行役員

（右）五十嵐市長

※写真提供可

LoSによる連携事項 詳細につきましては、別添のAWSジャパンプレスリリースをご参照ください。

- (1)つくばSociety5.0社会実装トライアル支援事業等のつくば市実証プロジェクトへの採択企業、つくば市スタートアップ登録制度登録企業に対し、AWS ジャパンのスタートアップ支援プログラム（AWS Startup Ramp等）及びリソースを用いた支援の提供
- (2)つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム会員との連携促進を通じたスタートアップ支援の強化
- (3)つくばスタートアップパークにおけるスタートアップ関連イベントの開催協力

※LoSとは：覚書等の代替となるもので、双方が協力して実行する意図を明示するもの。



つくば市とAWS、研究開発型スタートアップの成長加速に向け連携

政府のスタートアップ創出5か年計画に呼应し、社会的課題の解決、革新的技術の開発、新サービスの創出を目指す、ディープテックスタートアップを育成

Amazon.com, Inc.の関連会社であるアマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社は、本日、つくば市と社会課題の解決や新たなサービスの創出に向けて、研究開発型スタートアップの成長加速に連携して取り組んでいくことを発表しました。約150の研究機関と2万人の研究者が集う研究学園都市・つくば市は、ディープテックと言われる市内の研究者コミュニティの研究成果を基礎とした研究開発型のスタートアップの創出に取り組んでいます。つくば市を拠点として活動するスタートアップは本連携により、事業化・収益化までの間が長いと言われる革新的ソリューションの開発に向け、AWSのスタートアップ支援プログラムと世界で最も包括的かつ幅広く採用されたクラウドサービスを迅速に活用することができるようになります。また、AWSが[つくばスタートアップ・エコシステム・コンソーシアム](#)、同市が運営するインキュベーション施設である[つくばスタートアップパーク](#)と連携して開催するセミナーやハンズオンプログラムを通じて、Amazonの顧客志向のイノベーションや最新のクラウドテクノロジーを継続的に学ぶことができるようになります。

日本政府はデジタル田園都市国家構想を掲げ、デジタル実装を通じた地方活性化を推進し、新たな変革の波を起こし、地域経済の力強い成長を目指しています。また、日本発の企業の成長を促進するために、スタートアップ・エコシステムの大胆な強化に取り組んでいます。

AWSはこのビジョンを踏まえ、つくば市と連携して、ライフサイエンス、ロボティクス、エネルギー、環境、宇宙などの分野でイノベーションに取り組む、すべての事業成長ステージのスタートアップを効果的に支援します。具体的には、つくば市が進める「[つくば Society5.0 社会実装トライアル支援事業](#)」や、内閣府による、スーパーシティにおける「[先端的サービスの開発・構築等に関する調査事業](#)」に参画するスタートアップによる実証実験の推進を支援します。対象となるスタートアップは、[AWS Startup Ramp](#)や[EdStart](#)をはじめとするAWSのスタートアップ支援プログラムを通じて、技術支援・トレーニング、ビジネスメンターシップ、コミュニティ、Go-To-Market支援、AWS無料利用クレジットなどを提供します。

つくば市長の五十嵐立青氏は、AWSとの連携に当たり、次のように述べています。「つくば市は『世界をあしたが見えるまち』をビジョンに掲げ、研究学園都市としての知の集積を活かし、世界が抱える多様な社会課題を解決する新たなモデルを提示していくことを使命としてきました。AWSとの連携により、つくば市のスタートアップコミュニティは幅広く奥深いクラウドテクノロジーと支援プログラム、グローバルな知見を活用し、自社の成功と成長を確かなものとしながら、市民ニーズに応えるソリューションを迅速に発明、開発、テストすることができるようになりますと期待します」

例えば、地球観測衛星がもたらすデータ活用があらゆる産業や災害対策において期待されるなか、小型衛星を活用した宇宙空間での光通信サービスにより、地上へのデータ転送におけるボトルネックの解消を目指す[株式会社ワープスペース](#)は、サービスの信頼性向上を目指してAWSを活用しています。同社は2022年(令和4年)度のつくば Society5.0 社会実装トライアル支援事業の採択プロジェクトにおいて、つくば市内に光通信実験用地上局を設置し、光通信機を搭載した人工衛星との光通信の



送受信の実証実験を行う予定です。これにより、同社が開発する光通信サービスの提供時間を延伸し、地球観測衛星事業者によるデータ転送、さらにはデータ活用を支援することを目指しています。

また、救急医療情報システムの開発と提供を行い、AWS Startup Rampにも参画する [TXP Medical 株式会社](#)は、つくば市で進める内閣府の「先端的サービスの開発・構築等に関する調査事業」において、救急医療の質向上のための高度救急搬送システムの構築に取り組む予定です。TXP Medicalの高度救急搬送システムはつくば市内の救急病院、つくば市消防本部による搬送先病院への効率的、迅速、かつセキュアな患者情報の共有を可能とし、AI解析による患者状態に応じた迅速・的確な搬送先選定と医師・看護師の映像・音声での遠隔指示による救急救命士の処置拡大の可能性の検証を目指しています。

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社 執行役員 パブリックセクター 統括本部長 宇佐見 潮は次のように述べています。「つくば市は日本の科学、技術、研究分野の最前線であり、同市を拠点に活動するスタートアップの成長加速を支援する今回のイニシアチブは、日本におけるイノベーションを加速し、デジタル田園都市というビジョンに向けた一歩となるでしょう。日本では、ますます多くのスタートアップが宇宙、医療、教育、環境をはじめとする分野でイノベーションを加速しています。AWSは日本政府・各自治体と連携し、イノベーションを通じて経済を加速していくことにコミットしています。つくば市との連携を通じてAWSのクラウドテクノロジーと多様な支援プログラムを提供し、住民ニーズに応え、ポジティブな社会的インパクトをもたらすソリューションを開発するスタートアップを支援できることを心から光栄に思います」

アマゾン ウェブ サービスについて

アマゾン ウェブ サービス(AWS)は約15年にわたり、世界で最も包括的かつ幅広く採用されたクラウドサービスになっています。AWSは、コンピューティング、ストレージ、データベース、ネットワーク、分析、機械学習および人工知能(AI)、モノのインターネット(IoT)、モバイル、セキュリティ、ハイブリッド、仮想現実(VR)および拡張現実(AR)、メディア、ならびにアプリケーション開発、展開および管理に関する200種類以上のフル機能のサービスを提供しています。AWSのサービスは、27のリージョンにある87のアベイラビリティゾーン(AZ)でご利用いただけます。これに加え、オーストラリア、カナダ、インド、イスラエル、ニュージーランド、スペイン、スイスの7つのリージョンにおける21のAZの開設計画を発表しています。AWSのサービスは、アジリティを高めながら同時にコストを削減できるインフラエンジンとして、急速に成長しているスタートアップや大手企業、有数の政府機関を含む数百万以上のアクティブなお客様から信頼を獲得しています。AWSの詳細については以下のURLをご参照ください。<https://aws.amazon.com/>

Amazon について

Amazonは4つの理念を指針としています。お客様を起点にすること、創造への情熱、優れた運営へのこだわり、そして長期的な発想です。Amazonは、地球上で最もお客様を大切にしている企業、そして地球上で最高の雇用主となり、地球上で最も安全な職場を提供することを目指しています。カスタマーレビュー、1-Click注文、パーソナライズされたおすすめ商品機能、Amazonプライム、フルフィルメント by Amazon(FBA)、アマゾン ウェブ サービス(AWS)、Kindle ダイレクト・パブリッシング、Kindle、Career Choice、Fire タブレット、Fire TV、Amazon Echo、Alexa、Just Walk Out technology、Amazon Studios、気候変動対策に関する誓約(The Climate Pledge)などは、Amazonが先駆けて提供している商品やサービス、取り組みです。Amazonについて詳しくはAmazon Newsroom (<http://amazon-press.jp>)およびAmazon ブログ (<http://blog.aboutamazon.jp>)から。

報道関係からのお問い合わせ先

アマゾン ウェブ サービス ジャパン合同会社
広報部 awsjp-pr@amazon.com